

第 2 回 JSP0 国体発第 193 号  
令和 3 年 2 月 5 日

加盟都道府県体育・スポーツ協会  
中央競技団体  
事務局長 様

公益財団法人日本スポーツ協会  
事務局長 根本 光 憲  
( 会 印 省 略 )

国民体育大会関係決定事項等について (通知)

平素より当協会スポーツ推進事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去る令和3年2月1日開催の令和2年度第3回臨時国民体育大会委員会において、下記の件について決定しましたので通知いたします。

【決定事項】

● 第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会の開催について

以下の状況を総合的に勘案した結果、提案のとおり第76回国民体育大会冬季大会スキー競技会を中止することが承認された。

<中止理由>

- ① 会場となる鹿角市花輪スキー場は、国体スキー競技全種目の会場が集中しており、開会式典を実施せず、無観客開催とするなど運営上の工夫では、運営本部や待機所等において参加する選手や監督、運営関係者の3密を十分に回避することが困難。
- ② 選手団の宿泊について、宿泊施設の構造上個室が2割しかないため、選手等関係者が相部屋になることにより感染リスクが高まる状況。
- ③ 医療体制について、鹿角市の受入可能病床数が2床（最大確保想定6床）と脆弱であるとともに、広域医療体制の中核として想定していた秋田市内の基幹病院において院内クラスターが発生するなど、県内でも陽性者が急増し、病床負担も増していることから、選手等関係者に感染者又は感染疑い者が発生した場合の秋田県の医療体制に重大な懸念。
- ④ 1月18日に秋田県は、独自の「新型コロナウイルス感染警戒レベル」をレベル3に引き上げており、県民に感染者が多い地域との往來の自粛を強く要請している状況。秋田県内の感染は主に他県との往來によるものであること、また上記の医療体制を踏まえると、秋田県としては、緊急事態宣言発出地域11都府県も含めた全国から多くの大会参加者を受け入れることが困難。
- ⑤ 感染への不安から、ボランティアなどの競技会を運営するための協力員の確保が困難となってきている状況。